

エネルギー値との比較一, *ibid.*, 10・11, 41-50.
 Ohashi, M., N. Kitagawa and T. Ishikawa, 1986:
 Lightning injury caused by discharges accompanying flashovers—a clinical and experimental study of death and survival. *Burns* 12, 496-501.
 大橋正次郎, 石川友衛, 北川信一郎, 1988: 人体への落雷の研究 2—1987年夏季の三つの特異な落雷事故について, *大気電気研究*, 32, p. 47.

世森啓之, 若松勝寿, 堀井憲爾, 1986: ロケット誘雷時の地上放電の検討, *電気学会研究会資料*, ED-86-97~111, 35-44.
 Singer S., 1977: *Ball Lightning, Lightning, Volum 1 (Physics of Lightning)* edited by R.H. Golde, Academic Press, London, 409-436.
 高木伸之他11名, 1987: 多地点同時落雷について, *電気学会研究会資料*, ED-87-97~106, 59-67.

第24回乱流シンポジウム

開催要項と論文募集

主催: 日本流体力学会

共催・協賛: 応用物理学会・化学工学協会・可視化情報学会・航空宇宙技術研究所・土木学会・西日本乱流研究会・日本海洋学会・日本ガスタービン学会・日本風工学会・日本機械学会・日本気象学会・日本建築学会・日本原子力学会・日本航空宇宙学会・日本混相流学会・日本造船学会・日本伝熱学会・日本農業気象学会・日本バイオレオロジー学会・日本物理学会 (50音順)

開催月日: 1992年7月28日(火), 29日(水), 30日(木)

開催場所: 慶應義塾大学理工学部 (矢上校舎・厚生棟)
 〒223 横浜市港北区日吉 3-14-1
 TEL. 045. 563. 1141

発表形式: 口頭発表によるセッション(OS)とビジュアル・セッション(VS:ポスター, VHS-ビデオ, PC9801-パソコン等)があり, 発表者はどちらかを選択できます。ただし, 応募状況によってはご希望に添えない場合もあります。

申込方法: 論文の発表を希望される方は, 所定の申込票(はがき)と論文要旨用原稿用紙(750字詰)を用いて下さい。原稿はそのまま縮小して「論文要旨集」を作り当日参加者に無料で配布します。氏名欄には発表者全員の氏名, 所属(略称)を記入し, 代表者(OSの場合は

登壇者)の左肩に○印をつけて下さい¹⁾。申込票の希望セッションと使用機材の欄にも必ず記入して下さい。申込に必要な用紙は下記連絡先に御請求下さい。

申込期限: 1992年5月30日(土)必着

参加登録: 参加を希望される方は, 当日会場で参加登録費(協賛学協会会員3000円, 非会員4000円, 学生会員2000円, 学生非会員3000円)をお支払い下さい。

論文集: 発表者は講演終了後(8月末)に講演論文の原稿を提出して頂き, 講演論文集を発行します。予約希望の方は予約代金3000円を参加登録費とともにお支払い下さい。詳細は受付でお尋ね下さい。

申込先/連絡先: 発表申込, 論文集の予約, 用紙の請求, 入会案内, 使用機材等に関するお問い合わせはすべて下記宛にお願いします。

〒223 横浜市港北区日吉 3-14-1

慶應義塾大学理工学部
 機械工学科 益田重明

TEL 045. 563. 1141 内線3132

FAX 045. 563. 5943

注1) 発表代表者は日本流体力学会会員であることを要します。非会員の場合, 申込と同時に入会の手続きをとって下さい。

いているものがあります。例えば1992年2月号の気象集誌に掲載された論文(Nagata, 1992)がそうですが、この論文では「序」の始めの部分で、命名法の問題についてのコメントを入れて、誤解を招かないように配慮しました。

以上が私の立場の説明です。従って、結論として、今後は収束雲という用語を使うのをやめて、日本海(寒帯気団)収束帯(の)帯状雲又は雲帯という用語を用いるようにすべきだと思います。

最後になりましたが、小倉氏の明解な論旨による適切かつ有益なコメントに対し深く感謝の意を表します。

引用文献

- Hozumi and Magono, 1984: J.M.S.J., 62, 522-533.
 Nagata, 1992: J.M.S.J., 70, 649-671.
 Nagata, et al., 1986: J.M.S.J., 64, 841-855.
 (気象研究所 永田 雅)

第3回計算流体力学シンポジウム

開催要項と論文募集

下記の通り第3回計算流体力学シンポジウムを開催します。多数の御参加をお待ちしています。

記

1. 主催：日本流体力学会
2. 協賛：応用物理学会，可視情報学会，土木学会，日本機械学会，日本気象学会，日本航空宇宙学会，日本天文学会，日本物理学会（五十音順）
3. 開催日：1992年7月31日（金）～8月1日（土）
4. 会場：東京大学山上会館会議室
〒113 東京都文京区本郷 7-3-1
TEL 03. 3818. 3008（直通）
5. 発表形式：口頭発表によるセッションのみ。ただし、ビデオ等のビジュアル機器は発表者の要請があればできるだけ準備します。
6. 申込方法：所定の申込票（はがき）と論文要旨用原稿用紙を用いて下さい。原稿はそのまま縮小して「論文要旨集」をつくります。発表責任者（登壇者）は日本流体力学会会員であることを要します。詳細は下記にお問い合わせ下さい。
7. 申込締切：1992年6月1日（月）必着

8. 参加登録費：シンポジウムに参加される方は当日会場で参加登録費：会員（協賛学会会員を含む）3,000円，非会員4,000円，学生会員2,000円，同非会員3,000円（論文要旨集の代金を含む）をお支払い下さい。
9. 連絡先：講演申込および郵送による予約受付，申込用紙等の請求，入会申込，その他本シンポジウムに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
〒152 東京都目黒区原町 1-16-5
日本流体力学会計算流体力学シンポジウム係
TEL 03. 3714. 0427
FAX 03. 3714. 0434（直通）

第3回計算流体力学シンポジウム実行委員会：

- 委員長 桑原邦郎（宇宙研）
 委員 石井克哉（計算流体研），井上 督（東北大流体研），神部 勉（東大理），河村 哲也（鳥取大工），木田 重雄（京大数理解研），木谷 勝（北大工），桜井 晃（九大工），高見頼郎（神奈川大理），中村佳朗（名大工），松信八十男（慶大物理）